

取扱説明書 保管用

日立H I D灯器具 H I Dダウンライト

HITACHI
Inspire the Next

MD1509
MD0709

○このたびは日立照明器具をお買上げいただき、ありがとうございました。

- ・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- ・器具の取付工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わない
てください。



必ず指示に従い
行ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性のあるもの



禁止

引火する危険のある雰囲気を使わない。（ガソリン、
可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、可燃性粉じんのある所で
使わない。）（火災の原因）

電源線、安定器口出し線は器具の外郭に直接触れない。
（過熱して火災の原因）

指定された場所以外には取り付けない。



禁止

器具取付けの際は電線を挟まない。
（絶縁不良により感電・火災の原因）

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。
（絶縁不良により感電・火災の原因）



厳守

施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝
撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）

さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。
（劣化による落下の原因）

器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には
取付けない。
（絶縁不良やさびより感電・落下の原因）

風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。
（火災・感電の原因）



禁止

器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。
（火災・感電の原因）

表示された電源電圧以外では使わない。
（火災・感電の原因）

狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して
使う場合は、放熱を妨げない。
（器具が過熱して火災の原因）

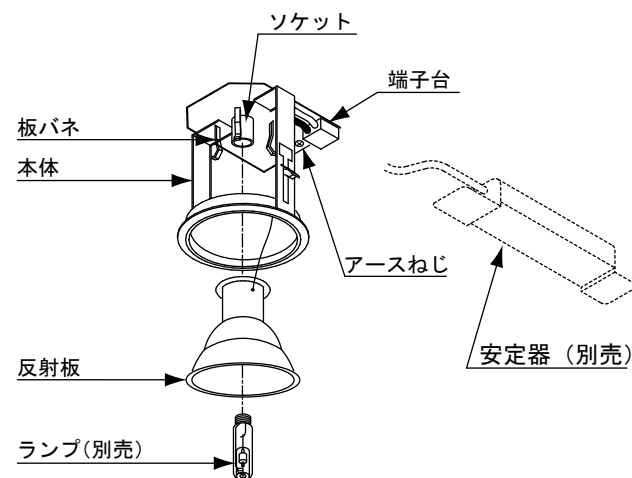
調光専用器具以外は調光させない。
（器具が過熱して火災の原因）

雨水のかかる場所で使わない。
（水気・湿気が入り感電の原因）

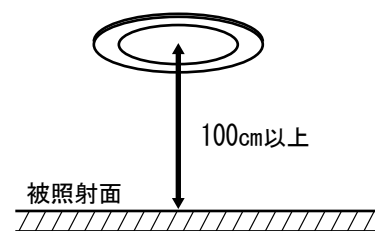
お願い

■器具の周囲温度が5～35℃の範囲で使用してください。

各部のなまえと取り付け方



⚠ 警告
器具と被照射面は100cm以上離してください。
火災の原因となります。



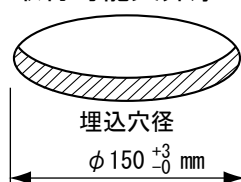
1. 取付前の確認

- 器具質量(約0.7kg)に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
- ロックウール等のやわらかい天井に取り付ける場合、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。
- 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定してください。

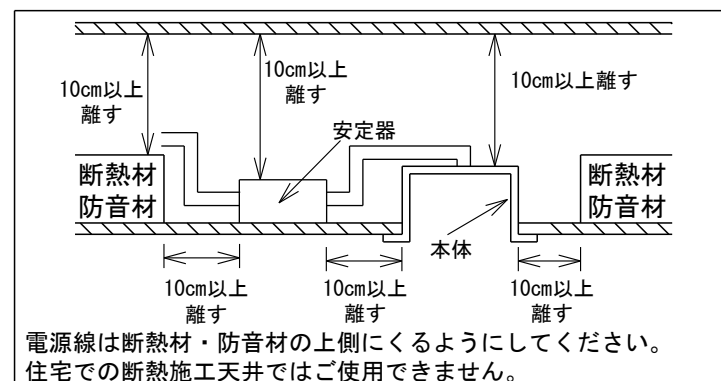
2. 天井に埋込穴をあける。

- 指定埋込穴径φ150mmに対して+3~-0mmの範囲であけてください。

取付可能天井厚 5~35mm



⚠ 警告
断熱材施工天井に取り付けない。
火災の原因になります。



電源線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
住宅での断熱施工天井ではご使用できません。

3. 安定器出力線を接続する。

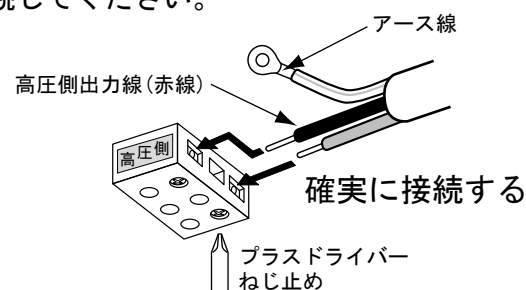
- * 安定器の設置・電源線の接続は、安定器の取扱説明書を参照してください。
- 安定器出力線を端子台にしっかりと差し込み、プラスドライバーで締め付ける。
- * 高圧側出力線(赤線)は端子台の「高圧側」表示のある端子に接続してください。

⚠ 警告
接続が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

- アース線をアースねじに接続し、D種接地工事を行う。

⚠ 警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

- * 端子台は安定器との接続専用です。送り配線はできません。
- * 安定器出力線・電源線は、本体・反射板に接触させないでください。
火災・感電の原因となります。

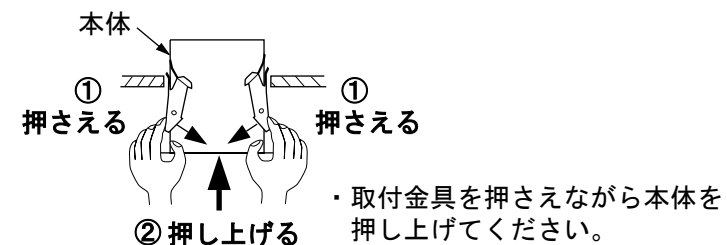


4. 本体を埋込穴に入れる。

- 本体を埋込穴に挿入する。

⚠ 注意
器具の外郭が天井内の造営物、ダクトに触れない
火災・感電の原因

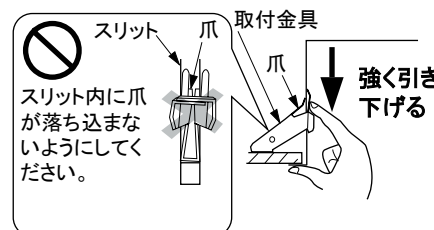
⚠ 注意
不完全取付は、器具落下の原因になります。



・取付金具を押さえながら本体を押し上げてください。

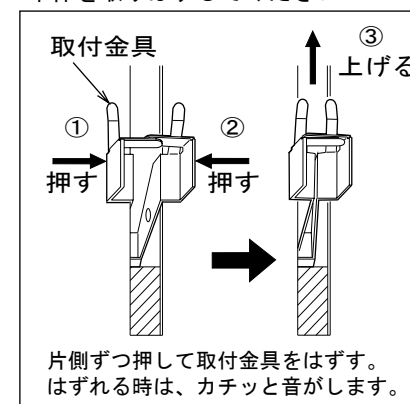
5. 本体を固定する。

取付金具を強く引き下げ固定してください。



⚠ 注意
不完全取付は、器具落下の原因になります。

(本体をはずす場合)
次のように取付金具をはずしてから
本体を取りはずしてください

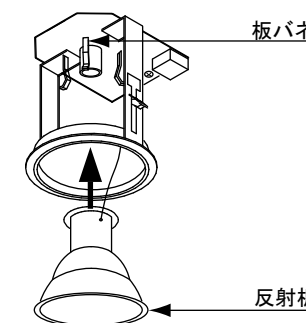


片側ずつ押して取付金具をはずす。
はずれる時は、カチッと音がします。

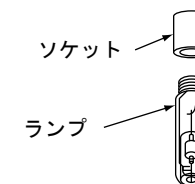
6. 反射板を板バネに合わせて取り付ける。

反射板は3本の取付バネの内側に確実に引っかかるように取付けてください。

⚠ 注意
不具合取付は反射板外れの原因になります



7. ランプをランプソケットに確実にねじ込む。



8. 工事完了時にランプが正常に点灯するか確認してください。 万が一点灯しない場合は、下記項目をチェックしてください。

- ・ 電源電圧は安定器に表示されている定格どおりか。
- ・ 配線は正しく接続されているか。
- ・ ランプはランプソケットに正しく取り付いているか。

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠ 警告 ⚠ 注意 の表示で区分して、説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないでください。



必ず指示に従って行ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの



禁止

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。
(火災・感電・落下の原因)
器具やランプを布や紙などで覆わない。
(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)



禁止

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。
(火災・感電の原因)
器具下面から100cm以内に、ドアや家具などの可燃物を近づけない。
(器具の照射面は高温になり、火災の原因)



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。
(火災・感電の原因)
ランプに塗料などを塗らない。
(ランプが過熱・破損してけがの原因)
器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。
(過熱して火災の原因)
ランプは直接素手で触れない。
(汚れたまま点灯すると破損してけがの原因)



禁止

節電その他の理由で、ランプを取りはずして間引き点灯しない。
ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。
(ランプが破損してけがの原因)
明るく安全に使用するため、定期的に清掃・点検を行う。
不具合がある場合はそのまま使用せず、工事店・電気店に修理を依頼する。



厳守

ランプの交換・器具の清掃 — ⚠ 警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因) —

ランプ交換

器具形式	MD1509	MD0709
適合ランプ (別売)	MT150FCE 口金 E26	MT70FCE 口金 E26
適合安定器 (別売)	AM150EN100/200 電子式	AM70EN100/200 電子式

適合ランプ以外は取り付けないでください。

清掃

○ランプや金属部分の汚れは、柔らかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとり、さらに乾いた布で拭いて仕上げてください。

注意

- ガラス管を強く握ったり無理に引かない。
(火災・感電の原因)
- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。
(高温のためやけどの原因)
- ランプはソケットに確実に取付ける。
(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済のランプは不用意に割らない。
(ガラスが散乱してけがの原因)

警告

器具・ランプを水洗いしない。
(火災・感電の原因)

照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
※周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

- 3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る場合があります。

保証について

- 保証期間は商品お買い上げ日より1年間です。ただし、ランプなどの消耗品は対象外です。

アフターサービス

- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。